



# YES 通信



〒819-1116 糸島市前原中央2-2-22波多江ビル2F 電話 321-4119 2020年7月号

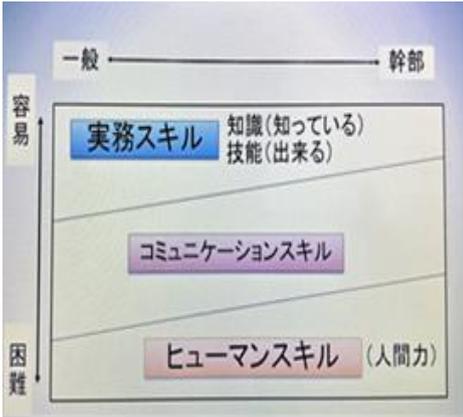
## 社会に出てから必要な力って何でしょうか

みなさんは社会に出てから必要な力は何かと思いますか？学力でしょうか？知識でしょうか？

「これだ！」と言えないのが悩みですが、一般的には大きく3つあるようです。左図は私が20年ほど前に人事の責任者をしていたときに日本でも有数のコンサルタント会社である(株)トーマツの方がお持ちになった、人事制度のベースとなるものです。

私はこの表を見た時に「なるほど」と心底思ったのです。感覚的に思っていたことが言語化された瞬間でした。先ず第1に実務スキルがあげられます。

これは知識や技能のことです。そして2番目はコミュニケーションスキル。3番目がヒューマンスキルで俗に言う人間力です。縦軸は習得する難易度で、人間力を習得するのが一番難しく、実務スキルの習得は簡単だという意味です。



横軸は左側が一般社員、右側は幹部社員という意味です。実務スキルは若いうちはウエートが高いが

幹部になるとそのウエートが減ってくるようになっていきます。これは、幹部になると部下に実務スキルのある人物を配置するので実務スキルよりも人を指揮するためのコミュニケーション力や人間力が重要になるといえる意味です。一般社員は人間力が高くな

っても部下を指揮したりはしないので実務スキルのみで勝負できるという意味です。コミュニケーションスキルは一般社員であろうが幹部社員であろうが必要なくとも重要なスキルなのです。

実務スキルは、仕事の内容を理解し、暗記して実際にやれるようにトレーニングを繰り返せば習得することができます。しかし、コミュニケーション力や人間力はどうやったら身に着くのでしょうか？

実際はこの表を見るまではコミュニケーションは才能だと思っていました。その頃、人事で仕事をしていてコミュニケーションの良し悪しが結果を左右することを痛感していました。期待していた高学歴の新入社員が結果を残せないのもコミュニケーション力不足がほとんどだったからです。

なので、私がこの表を見て一番に質問したことはコミュニケーションがスキルだったということは学べるのですか？という質問でした。すると、担当者の

方は「学べますよ、マクドナルドさんとかはすでにコーチングを導入なさっています」とのことでした。それから私はコーチングを学び始めて今に至っています。今でも採用担当者の約9割が面接の際に

一番重視する項目にコミュニケーションスキルを上げていますが、そのコミュニケーションは学ぶことができるのです。じゃあヒューマンスキルはどうでしょうか？私なりにヒューマンスキルを向上させるためには行動を続けることが大事だと思っています。多くの成功体験や失敗の体験を持っている人が人間力を磨けるのだと考えています。その為が一番重要なのが前向き思考です。何事も前向きにとらえ失敗から学び成功を糧にする生活が来ている人は着実に人間力が磨かれていきます。しかし、否定的で人のせいにする人や、行動を起こさない人には人間力を磨けるチャンスが少ないのが現実です。

今回、なぜこんな記事を書いたかというと、この5か月間、経営の勉強を継続してきました。そこでなぜ起業したのか？なぜ今の仕事をしているのか？その原点を見直した際に、改めて今迄の取り組みを再認識しました。今後は、受験改革で東北大学のようにな面接や志望理由書重視で、知識(学力)だけではなくコミュニケーションスキルや人間力を試される時代になって来るでしょう。その為にも、塾として前向き思考の出来る環境、コミュニケーショントレーニングの出来る環境をさらに充実させていきたいと考えています。

# やる気相談室

## 異変

### 大学の序列で東北大学がトップになりました。

コロナ後初の国内大学

ランキングで異変が起きました。なんと東北大学が初の1位になったのです。今までは東大と京大が首位争いを繰り広げていたわけですから、新しい秩序が生まれたといっても良いような出来事です。左

の表にランキングの20位までを掲載していますので参考にしてください。

東北大学の特徴で一番際立っているのが6年間の一貫教育です。工学部の9割、理学部・農学部でも8割が進学するという修士課程で教育しているのです。

## 「定番」に異変

国内ランキングで東北大が初の1位に  
—英THEの日本の大学ランキング—

順位	大学名	総合点	前期リソース	教育充実度	教育成果	国際性
1	東北	83.0	84.1	80.6	96.6	73.9
2	京都	81.5	83.4	78.7	98.4	69.1
3	東京	81.2	86.5	79.8	94.1	64.0
4	東京工業	81.2	80.1	80.8	92.8	74.5
5	九州	79.7	76.4	79.9	97.4	70.9
6	北海道	79.6	73.8	83.4	94.1	72.3
7	名古屋	79.5	78.2	80.5	96.1	66.9
8	大阪	78.9	78.0	77.2	97.9	68.1
9	筑波	77.7	74.1	84.9	94.4	59.6
10	国際教養	77.2	52.8	93.0	71.0	100.0
11	国際基督教	74.3	52.8	90.5	60.6	97.6
12	広島	72.6	66.5	79.0	78.4	68.9
13	早稲田	71.5	52.7	79.3	93.0	74.6
14	慶応	70.2	60.8	76.3	93.7	58.2
15	神戸	69.5	66.1	75.4	83.4	55.5
16	一橋	67.4	51.3	78.4	76.6	70.9
17	長岡技術科学	67.1	61.4	69.3	68.4	72.1
18	金沢	66.9	65.9	76.5	58.4	61.0
19	東京農工	66.9	69.8	68.5	69.4	57.4
20	上智	66.5	43.4	82.8	66.3	81.3

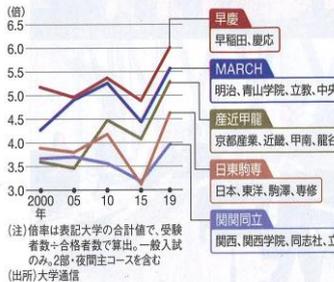
(出所) THE (タイムズ・ハイヤー・エデュケーション) 世界大学ランキング 日本版2020

また、これと連動しているのがAO入試入学者の比率です。国立大学の平均がたったの4%であるのに対して東北大学は今年約3割に当たる720名を募集予定なので、一般入試と同様、筆記試験を課し基礎学力を測定しつつ、面接において「第一志望であること」「入学後は何をしたいのか」などを聞き学生の意欲を点数化して合否を決めるのです。AOで入学した生徒が成績上位に来ていて好循環も生まれているのだそうです。私立ならまだしも国立でこのような状況を作り出しているのは脅威です。成長している企業は、求める人材像が明確で、それに合致した人材を採用し教育することで企業の成長も加速していきます。これと同じで、大学も求める人材像を明確にする必要があるのですが、私の見る限り国立や公立は私立に比べて大学の個性が見えにくいのが現状です。国立大学を独立行政法人にしたことで、今後は徐々に私立に近い経営が出来るようになっていくことを期待しています。

そして、もう一つの異変が安全志向の高まりで、東洋大学や近畿大学に代表される中堅私立が極端に難化していることです。福岡で言えばその代表格が福岡大学です。さらにこの安全志向が付属高校への進学や、福岡にはあまりありませんが付属中学への進学に繋がってきているのです。早く安心したいというニーズと少ない人数の中から良い人材を取り込むためには、企業の採用のように、いかに早く合格内定を出すのが勝負になっていくような感覚がします。そうなると前述したような人間力やコミュニケーション力がとても重要になってきます。そのためにYESでは早い時期からチャレンジできる環境を作っています。さだといと考えています。

## 定員厳格化

都市部の大学は定員厳格化で難化  
—主な大学の一般入試倍率—



早く安心したいというニーズと少ない人数の中から良い人材を取り込むためには、企業の採用のように、いかに早く合格内定を出すのが勝負になっていくような感覚がします。そうなると前述したような人間力やコミュニケーション力がとても重要になってきます。そのためにYESでは早い時期からチャレンジできる環境を作っています。さだといと考えています。

改訂版

誰でもできる  
**感染症対策!**  
樹齢千年  
松・ひば精油で  
免疫力超アップ

小島弘基 松井和義

樹齢千年の針葉樹の  
生命力・免疫力を  
徹底活用!

● フィトンチッドパワー  
ウイルス 病原菌の抑制 免疫を高める

● アロマセラピーパワー  
免疫力を高め、心癒す

● 原始ソマチッドパワー  
免疫の生命力を強化

対策!  
ウイルス  
病原菌

すぐ始められる

コスモ21

## 書籍紹介 誰でもできる感染症対策! 樹齢千年「松・ひば精油」で免疫力超アップ 松井和義著

私の健康観のベースとなっている考えを常に提供して下さる松井氏の著書です。松井氏は右脳教育の第一人者でもあり、独自の健康法を研究なさっている超人のような方です。70歳を超えて年間200回以上のセミナーを開催するだけではなく、なんとマイクを使わずに5時間以上に及ぶセミナーを実施なさっています。本もこのところ年間3冊ペースで出版される方なのです。この本には以前YES通信で紹介した、体内で発生するガン細胞などを攻撃して無害化する微小生命体(ソマチッド)が、樹齢1000年の松に含まれていて、その精油がとても素晴らしい成果を上げているというのです。精油を霧状にして空気中に放出すると感染症に効果絶大で、ウイルスが抑えられるだけでなく体内のソマチッドが増えて免疫力が高まりウイルスが体内に入ったとしても重症化しないと書いてあります。ウイルスや病原菌をすべてなくすることは出来ません。悪いものを排除しようとするとも良いものも失い、結果抵抗力を下げってしまうからです。またワクチンができたとしてもワクチンが効かないウイルスが生まれてくるのです。自然の持つパワーや偉大さがわかるとともに、殺菌だ除菌だと排除するのではなく共存するためのヒントが学べる本です。